教員の公募について

北陸先端科学技術大学院大学
ナノマテリアルテクノロジーセンター長
大木　進野

北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）は、「科学技術創造により次代の世界を拓く指導的人材を育成する」ことを理念とし、グローバルな社会への貢献、社会や産業界のリーダーの養成を目標に掲げています。自然環境・文化的雰囲気に優れ、研究・教育活動に専念できる石川県能美市に所在し、世界的な大学院大学を目指して活発に活動を展開しています。

北陸先端科学技術大学院大学の理念

北陸先端科学技術大学院大学は、豊かな学問的環境の中で世界水準の教育と研究を行い、科学技術創造により次代の世界を拓く指導的人材を育成する。

北陸先端科学技術大学院大学の目標

- **先進的大学院教育を組織的・体系的に行い、先端科学技術の確かな専門性とともに、幅広い視野や高い自主性、コミュニケーション能力をもつ、社会や産業界のリーダーを育成する。**
- **世界や社会の課題を解決する研究に挑戦し、卓越した研究拠点を形成すると同時に、多様な基礎研究により新たな領域を開拓し、研究成果の社会還元を積極的に行う。**
- **海外教育研究機関との連携を通して学生や教員の交流を積極的に行うとともに、教育や研究の国際化を推進し、グローバルに活躍する人材の育成を行う。**

このたび、下記の要領で教員を公募いたします。研究、教育について高いアクティビティを有し、学生の指導にも熱意を持つ方の積極的な応募を期待しています。

記

１．公募人員：　ナノマテリアルテクノロジーセンター　助教又は講師　１名
令和９年１０月１日の時点で
・博士の学位取得後５年未満の方（令和４年１０月２日以降に学位を取得した方）は助教
・博士の学位取得後５年以上の方（令和４年１０月１日以前に学位を取得した方）は講師
として採用します。

２．専門分野及び関連する主な職務：
業務：半導体分野又は量子分野に関連する微細加工装置群や分析・評価機器の運用・維持管理・共用推進業務

研究：半導体分野又は量子分野に関する研究（関連教員 赤堀誠志教授と協働して実施）

赤堀教授 HP：https://www.jaist-akabori-lab.com/

教育：

（助教の場合）

- マテリアルサイエンスに関連する科目の講義の一部を担当
- 関連教員　赤堀誠志教授と協働して、研究室内の博士前期・後期課程学生、また他研究室の副テーマ学生を指導

（講師の場合）

- マテリアルサイエンスに関連する科目の講義の担当
- 博士前期課程の主テーマ指導担当学生の研究指導、学修指導、就職指導等、他研究室学生に対する副テーマ指導

その他（講師の場合）：

- 大学業務・管理運営への貢献、社会貢献

本学が求める職位別の人材像、職位ごとの職責及び職務内容等について、下記のサイトをご参照ください。

https://www.jaist.ac.jp/top/data/jinzai.pdf

３．応募資格：

採用時に博士の学位を有し、本学の理念と目標に従って、熱意をもって本学における教育や競争力のある先端研究を推進できる方。他研究者と連携し、共同研究を推進する方。日本語、英語を使ってのグローバルコミュニケーション能力のある方。本学では、教員の選考に際して機会均等、多様性が重要と考え、女性や外国人の採用を積極的に進めています。

本学の育児・介護期間の両立支援に対する取組みについては、下記のサイトをご参照ください。

https://www.jaist.ac.jp/top/employment/wlb.html

４．待遇：

（１）勤務形態

専門業務型裁量労働制（１日 7 時間 45 分相当）

休日：土日曜、祝日、年末年始、創立記念日、夏季一斉休業日

※ただし、講義、入学試験（講師の場合）、大学院説明会等による休日勤務を命ぜられることがあります。

（２）給与・手当

年俸制を適用。

職位		基本給	業績連動給
教　授	Ⅲ	1,068 万円	・毎年度の業績評価及び大学全体の総間接経

	Ⅱ	1,008 万円	費等収入に応じた額 ・各教員の間接経費等獲得実績に応じた加算あり ・令和 7 年度業績連動給支給実績：451 万円（最高額）
	Ⅰ	972 万円	
准教授		828 万円	
講　師		756 万円	
助　教		612 万円	

※いずれも年額。

本学に新たに採用された教授は、教授Ⅰを適用する。採用後の業績評価等に基づき、教授Ⅱ又はⅢが適用される。

諸手当は、退職手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、超過勤務手当及び休日給（実状に応じて支給、国家公務員に準じた取扱い）、その他入試特別手当の適用あり。

（３）社会保険

文部科学省共済組合（健康保険）、厚生年金保険、労災保険及び雇用保険に加入

５．着任時期：令和９年１０月１日

６．任期：

助教の場合：５年。当該任期内に再任（３年）に係る審査、及び一定の要件の下で講師（５年）への昇任に係る審査を受けることが可能です。

講師の場合：５年（再任なし）

７．試用期間：

あり（採用日より６ヶ月間）

８．応募書類（（４）「研究業績数一覧」は Excel ファイルで作成し、（４）以外は１つの電子ファイル（PDF ファイル又は Word ファイル）として作成の上、提出）：

＊作成上の注意事項に従ってご作成ください。

（１）履歴書（写真添付）

（２）教育活動について

センター業務に係る実務経験等についても記述

（３）研究業績について

「学術論文（①査読付国際論文誌、②査読付国内論文誌、③査読付国際会議）」、「国際会議招待講演」、「著書」、「研究費獲得実績」、「特許（出願・公開・登録）」、「産学連携実績（講師の場合）」、「センター業務に係る実務経験等」、「その他」について

（４）研究業績数一覧について

前項目「（３）研究業績」で挙げた学術論文等の数について

Excel ファイル：https://www.jaist.ac.jp/top/data/list-achievement-research.xlsx

（５）その他の活動について

学内（社内）貢献、学会への貢献、社会貢献、国際貢献等や受賞など、特に重要と思われる事項について

（６）教育活動及び研究活動に係る今後の計画・抱負等

(助教の場合)

① 自身のキャリアパスや学生の研究指導に関する考え方を含む、任期中の研究計画及び抱負、達成目標、及びそれらの見通しについて

② センター業務に係る抱負について

(講師の場合)

① 「教育（人材育成）の基本方針」、その実現に向かっての抱負、講義・訓練等（科目等）、学生の研究指導、学修指導において取り組む内容、目標、工夫について

② 採用後５年間の研究計画（国際連携・産学連携活動を含む）、抱負、達成目標、及びそれらの見通しについて

③ センター業務に係る抱負について

④ その他

学生獲得・就職支援活動など大学の業務及び管理運営に関する抱負について

（７）応募者本人の連絡先（郵便宛先とＥメールアドレス）

（８）意見を伺える方３名の氏名・所属と連絡先（Ｅメールアドレス）

（９）安全保障輸出管理に係る特定類型該当性の自己申告書（別紙様式を提出してください。）

Word ファイル：https://www.jaist.ac.jp/top/data/self-declaration-f-je.docx

９．応募締切：

令和８年１２月１８日（金）　１７時（日本時間）

１０．選考方法：

これまでの研究、教育に関する業績、今後の計画や抱負に基づき選考します。研究業績については、論文数だけでなく主要な研究内容について評価します。内外の評価も参考にします。実務的貢献についても評価します。また、必要に応じ照会者の意見も参考にします。

書類選考で選ばれた候補者に面接を行います。面接は上記応募資格に挙げている項目について日本語または英語で行います。別途、提出いただいた資料に関する説明や講演などをお願いすることがあります。

応募の秘密を厳守します。

１１．選考スケジュール：

令和９年１月下旬　書類選考

令和９年３月１０日（水）又は令和９年３月１２日（金）　面接

面接に係る旅費・宿泊費等は応募者の負担とします。

１２．書類提出先：

北陸先端科学技術大学院大学 ナノマテリアルテクノロジーセンター長　大木　進野　宛

Ｅメールにより提出してください（提出先：nmc-director@ml.jaist.ac.jp)。

なお、Ｅメールの「Subject」は、「教員応募書類（ナノセンター・助教又は講師)」としてください。応募書類受付後、本学からメールを返信しますので、ご確認願います。

１３．問合せ先：

ナノマテリアルテクノロジーセンター担当（共通事務管理課）

Tel：0761-51-1148

e-mail：nmc-director@ml.jaist.ac.jp

１４．募集者：国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

１５．その他：

本学の助教は、学部のある大学と違い、学生実験や入学試験監督などの業務がなく、研究に専念できるという利点があります。

また、共通研究機器が利用しやすい環境のため、研究活動をスピーディかつ柔軟に進めることができます。

女性教員の育児期間（３年を限度）に研究補助員を配置する等の仕事と子育ての両立を支援しています。平成２７年７月には、厚生労働省石川労働局から子育てサポート企業として認定され、くるみんマークを取得しています。

受動喫煙防止の措置として、キャンパス内を禁煙としています。

「履歴書」,「教育活動」,「研究業績」,「その他の活動」及び「教育活動及び研究活動に係る今後の計画・抱負等」の作成上の注意事項

下記の事項が記載されているものを,「４　研究業績数一覧」についてはExcelファイルで作成し,それ以外は１つの電子ファイル（PDFファイル又はWordファイル）で作成してください。

１ 履歴書（顔写真を添付すること）

１　氏名（ふりがな）・性別
　①　戸籍のとおり記入
　②　外国人の方は，ラスト（姓），ファースト（名）ミドル の順に英語表記で記入
２　国籍
３　生年月日（年齢）
４　現住所
５　連絡先
６　学歴
　高等学校，又は高等学校と同等以上と認められた学校の卒業以後の入学，修了等のすべて（例えば，大学，高専別科，専攻科，大学院修士課程・博士課程の入学，卒業，修了，研究生，聴講生，単位取得満期退学，中退等）について記入
７　学位
　学歴欄に学位名，取得年月，取得機関，論文題目を明記
８　職歴
　①　全体として空白期間がないように，無職，自宅研修も含めてすべてについて記入
　②職名，地位等についても記入し，その従事時期が分かるように，例えば「（１９９８．３まで）」と付記
　大学及び大学院の教員歴については，学科，研究科等も付記
　③現職については，「（現在に至る。）」と付記
９　専門分野
１０　学会及び社会における活動等
　①　専攻，研究分野等に関連した学会の所属状況等
　②　学会等の主要な役員歴や重要な学会，会議等の主催者であった場合などに記入
１１　賞罰・処分歴等
　①　公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分（研究費の不正受給に係る処分等）を記入
　②　過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入
※　履歴書記載内容に虚偽の記載があった場合は、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。

２ 教育活動

過去の全ての教育活動について，以下の項目に沿って記述してください。
１　担当（補佐）した講義，学内（社内）で実施した教育活動等
２　学生（あるいは社員等）に対する研究指導（テーマ，指導方法及びその成果）等
３　センター教員の場合には，センター業務に係る実務経験等についても記述

3 研究業績

過去の全ての研究業績について,「学術論文（①査読付国際論文誌，②査読付国内論文誌，③査読付国際会議)」，「国際会議招待講演」，「著書」，「研究費獲得実績」,「特許（出願・公開・登録)」,「産学連携実績」(講師の場合)，「センター業務に係る実務経験等」,「その他」に区分して，それぞれ新しいものから順番に列記してください。

1　学術論文

① 査読付国際論文誌

② 査読付国内論文誌

③ 査読付国際会議

学会誌等にすでに発表されているもののみを記載（アクセプトレターを添付した場合は，発表確定とみなす。）

著者については，執筆者全員（本人に下線）を記入

2　国際会議招待講演

3　著書：部分執筆も可

本人が編著を行ったものについては,「編著者○○○○」等と明記

4　これまでに発行した学術論文・著書のうち，主要なもの５篇程度について，科学または応用として重要な点と，成果の新規性，国際的な位置付け等につき，３００字程度の平易な概要を付記

5　科研費採択実績

研究種目，研究課題名，期間，採択額等について記入

6　産学連携実績（講師の場合）

7　その他の外部資金獲得実績

共同研究費，受託研究費，財団法人等からの助成金，国際的研究資金等について記入

8　特許：出願，公開，登録

9　センター教員の場合は，センター業務に係る実務経験等についても記入

１０　その他については，設計，装置開発，作品制作，発表，プレスリリース，評論，字典項目，学術報告，書評等，各自の判断で選択記入

4 研究業績数一覧

前項目「３　研究業績」で列記した学術論文等の数等について，Excel ファイルに記入例を参考に記入してください。

なお，Excel ファイルに記入する学術論文等の数は,「３　研究業績」で列記した学術論文等の数と同じとしてください。

Excel ファイル：https://www.jaist.ac.jp/top/data/list-achievement-research.xlsx

5 その他の活動

過去の活動について記述してください。

1　学会，社会，国際貢献（例：学術雑誌の編集委員，標準化策定等の社会貢献，国際会議のプログラム委員等国際的学術貢献等)，受賞等

2　学生獲得や就職指導活動等、運営に関する大学（企業）等への貢献（講師の場合）

６ 教育活動及び研究活動に係る今後の計画・抱負等

「社会への貢献」という本学の理念を踏まえ，本学教員としての今後の計画・抱負について，できる限り数値目標をあげて，以下の項目について記述して下さい。

（助教の場合）

１　自身のキャリアパスや学生の研究指導に関する考え方も含め，任期中の研究計画，抱負，達成目標，及びそれらの見通しについて１，５００字程度で

２　センター教員の場合は，センター業務についての抱負

（講師の場合）

１　「教育（人材育成）の基本方針」，その実現に向かっての抱負，講義・訓練等（科目等），研究指導，学修指導において取り組む内容，目標，工夫について２，０００字程度で

２　採用後５年間の研究計画（国際連携・産学連携活動を含む），抱負，達成目標，及びそれらの見通しについて２，０００字程度で

３　センター教員の場合は，センター業務についての抱負

４　学生獲得，就職支援活動など大学の業務及び管理運営に関する抱負についての具体的見通しについて５００字程度で

※　別添記載例は，あくまでも参考であり，表記等は，当該分野の一般的な方法によってください。

※「履歴書」記載例

履　　歴　　書

00　00　　00　00

◎氏　名（ふりがな）　○　○　　○　○　　（男）

◎国　籍　　○　○

◎生年月日（年齢）　　１９○○．○．○生　（○○歳）

◎現住所　　〒○○○－○○○○
○○市○○町○丁目○番○号　○○アパート○○号

◎連絡先　　○○大学○○学部○○学科
Tel　(012) 345-6789　　Fax　(012) 345-7890
E-mail　0000@abcd.ac.jp

◎学歴

１９７５．３	○○県立○○高等学校　卒業
１９７５．４	○○大学○○学部○○学科　入学
１９７９．３	同上　卒業
１９８０．４	○○大学大学院□□研究科○○専攻修士課程　入学
１９８２．３	同上　修了
１９８２．４	○○大学大学院□□研究科○○専攻博士課程　入学
１９８５．３	同上　修了，博士（□□学） 「(論文題目)・・・・・・・・・の研究」

論文博士の場合

１９８５．３	同上　単位取得満期退学
１９９２．３	博士（□□学）（○○大学） 「(論文題目)・・・・・・・・・の研究」

◎職歴

１９８５．４	○○株式会社○○支店○○課○○員（１９８６．３まで）
１９８６．４	○○株式会社○○研究所　研究員
１９９２．４	○○大学博士研究員（現在に至る）

◎専門分野　　○○○○

◎学会及び社会における活動等

１９８２．４	○○学会会員
１９８３．１	アメリカ○○学会会員
２０１３．４	日本○○学会理事

◎賞罰・処分歴等

１９９４．４	平成○年度科学技術分野の文部科学大臣表彰（科学技術賞）
２０００．５	紫綬褒章

※「教育活動」「研究業績」「その他の活動」記載例

１．教育活動

１　担当（補佐）した講義・学内（社内）で実施した教育活動等
（科目等ごとに目標・内容と取り組んできた工夫等について記載）
１）・・・・・論
２）・・・・・学
２　学生（あるいは社員等）に対する研究指導等
１）研究指導テーマ・指導方法・それらによる成果
２）就職指導（実績があれば記入）
等

教育活動に関連する論文，著書，講演等がある場合には，「２．研究業績」に準じて記載

２．研究業績

１　学術論文

①査読付国際論文誌

１）○○　for　△△　Systems
単著，International Journal of 0000 , vol.○○，pp○○－○○，1988

２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
共著者名，共著者名，本人氏名
○○学会論文集，第○巻，pp○○－○○，1980

②査読付国内論文誌

１）○○における△△の解析
本人氏名，共著者名，共著者名
○○学会論文集，第○巻，pp○○－○○，1990

２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
共著者名，共著者名，本人氏名
○○学会論文集，第○巻，pp○○－○○，1985

③査読付国際会議

２　国際会議招待講演

３　著書:（部分執筆も可。本人が編著を行ったものについては，「編著者○○○○」等と明記）

4　主要論文・著書の概要

１－①－２）（←上述の学術論文・著書リストの番号（上述以外の場合は番号不要））概要：（主要なもの５篇程度に，科学または応用として重要な点と，成果の新規性，国際的な位置付け等につき，300 字程度の平易な概要を付記してください。）

・・
・・
・・
・・

１－③－１）（←上述の学術論文・著書リストの番号（上述以外の場合は番号不要））概要：（主要なもの５篇程度に，科学または応用として重要な点と，成果の新規性，国際的な位置付け等につき，300 字程度の平易な概要を付記してください。）

・・
・・
・・
・・

5　科研費採択実績

１）○○研究（A）　「○○○○○の研究」
H○○年度～H○○年度，代表，総額　○○円

２）○○研究（B）　「○○○○○の研究」
H○○年度～H○○年度，分担，分担金の総額　○○円

6　その他の外部資金

１）共同研究費
２）受託研究費
３）財団法人等からの助成金
４）国際的研究資金
等

7　特許（出願・公開・登録）

8　産学連携実績（企業との共同研究のテーマ，相手先，代表・分担の別，受入額等）（講師の場合）

9　その他については，設計，装置開発，作品制作，発表，プレスリリース，評論，字典項目，学術報告，書評等，各自の判断で選択記入

３．その他の活動

1　学会，社会，国際貢献
2　受賞
等

その他に関連する論文，著書，講演等がある場合には，「２．研究業績」に準じて記載